工事説明書

石油小形給湯機　　石油給湯機付ふろがま

□ CBS-EN4100SFF　□ CBK-EN4100SFF

設置工事前に、この工事説明書をよくお読みのうえ正しく据付けてください。
この工事説明書は、工事終了後に該当機種にチェック☑を記載の上、取扱説明書と一緒に必ずお客様にお渡しください。

◆ 全ての電気配線工事が完了するまで、機器の電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

◆ 高地で使用するときの注意

高地で使用されるときは、機種により機器の調整が必要な場合があります。
下表を参照してください。

標高 / 機種	1000m まで	1500m まで	1500m 以上
CBS-EN4100SFF	標準バーナー対応	弊社にご相談ください	取付できません
CBK-EN4100SFF			

長府工産株式会社

KJS122AK

目　　次

安全のために必ずお守りください …… 1

開こん（附属部品の確認）…… 6

機器据付け …… 7

水 道 配 管 ……10

ふ ろ 配 管 （CBK-EN4100SFF の場合）……13

電 気 配 線 ……14

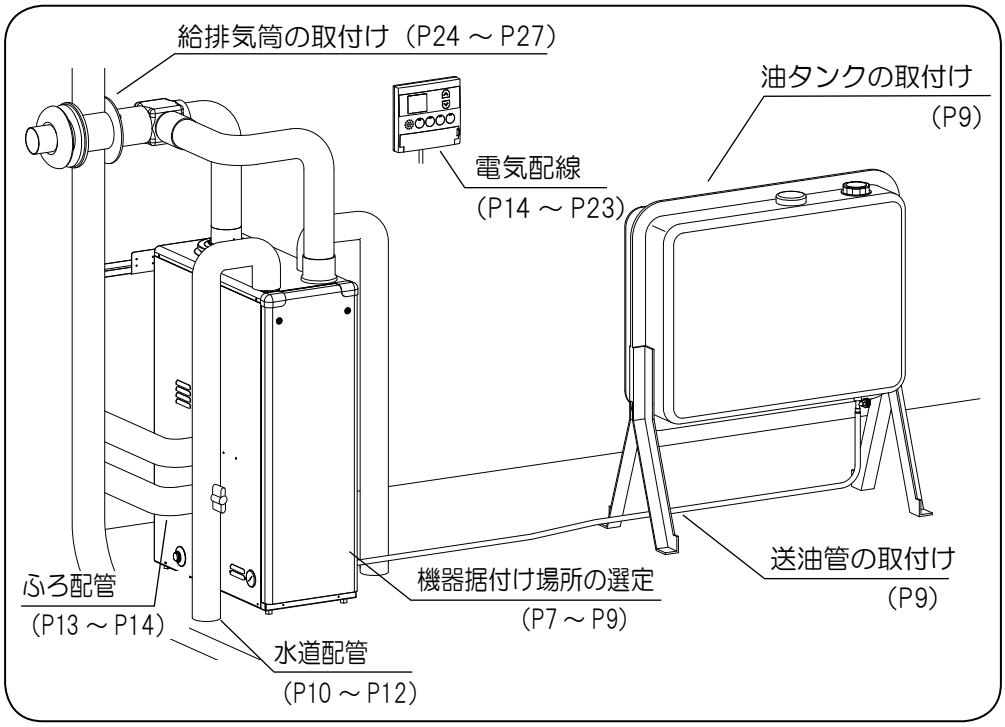
給排気筒の取付け ……24

高地で使用するときの注意 ……27

試　運　転 ……28

廃棄するときの注意 ……28

各参照ページについて



安全のために必ずお守りください

●**ここに示した事項は　⚠警告　⚠注意　に区分しています。**

⚠警告　：この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　：この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※ なお、⚠注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

●マークについては次のような意味があります。

⚠ ……「警告」または「注意」を表すマークです。

⃠ ……「禁止していること」を表すマークです。

❗ ……「必ず行なうこと」を表すマークです。

⚠警告

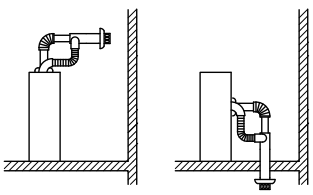
据付けや移動は、販売店または据付業者が行なってください。

お客様ご自身で据付けをされ、不備があると感電や火災の原因になります。

火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事や水道工事はそれぞれ指定の工事店に依頼するなど法令の基準を守ってください。

屋内給排気および床下給排気禁止

必ず屋外に排気してください。
排ガスが室内に漏れて危険です。



⚠警告

給排気筒は確実に接続

給排気筒を確実に接続し、しっかりと固定してください。
風、振動、衝撃などではずれたりすると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

給排気筒トップは閉そくしない場所に設置

積雪の多いときに給排気筒トップの周りが雪でふさがれない場所に設置してください。
また、板などによる「雪囲い」は給排気の妨げになるのでおやめください。
運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

⚠注意

次の場所には据付けない
火災や予想しない事故の原因になります。

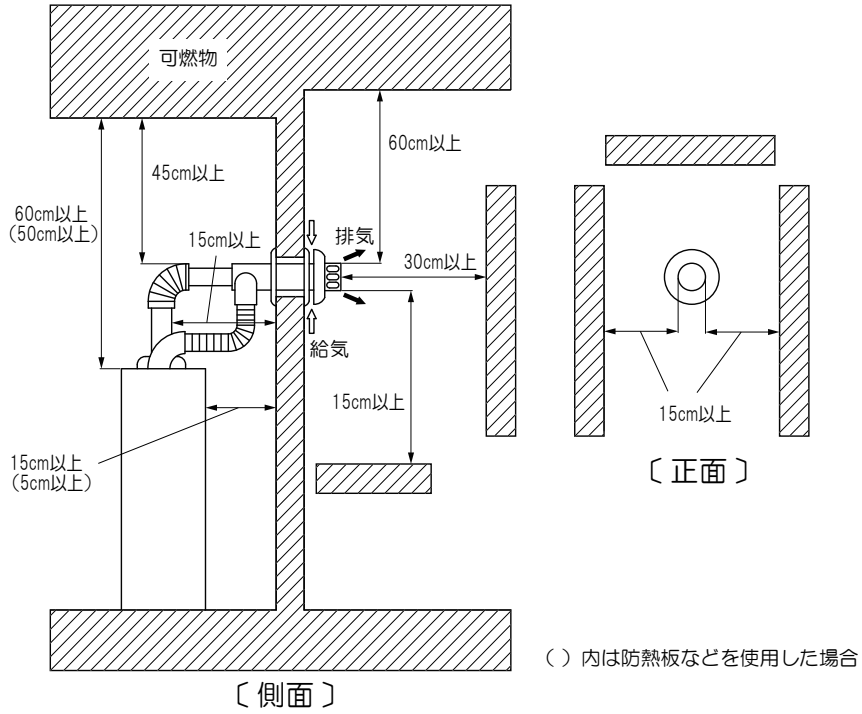
- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物を乗せた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所または、たまる場所
- 燃焼に必要な空気を取入れる空気取入口のない場所または、換気の行なえない場所
- 付近に燃えやすい物がある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 排水のしにくい場所
- 浴槽と同一室内（CBK-EN4100SFF の場合）
- 給排気をともなう換気扇や給気口の支障となる場所

⚠注意

可燃物との距離を離す

機器から周囲の可燃物までの距離は火災予防条例により規制されています。次の図の寸法を必ず守ってください。また、保守点検スペースとして機器の前面は１ｍ以上の空間を設けてください。

下図に示す範囲内に可燃物を置かないようにしてください。

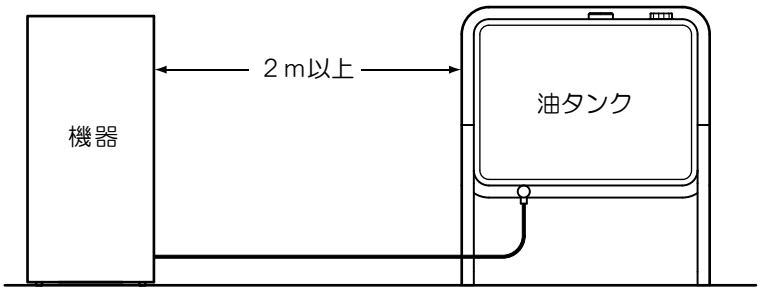


（ ）内は防熱板などを使用した場合

- 屋内設置の場合は金属製以外の不燃材の床上に据付けるか、または、防火上有効な措置を講じた金属製の台上に据付けること。
- 家屋貫通部の注意
  小屋裏・天井裏などにある部分は金属以外の不燃材料で防火上有効な被覆をしてください。
  可燃性の壁・天井・天井裏・小屋裏などを貫通する部分及びその付近では排気筒の接続はしないでください。
- 給排気筒の固定
  給排気筒は、風や振動などで倒れないよう支え金具や支え線などで固定してください。
  給排気筒は、1.5m～2m おきに固定金具で固定し、自重を支える部分は支えまたは吊り金具で堅固に支持してください。

⚠注意

油タンクの取付け



- 油タンクは機器より２ｍ以上離して据付けるか、防火上有効な遮へいを設けてください。
- 据置式の油タンクは、不燃材の床上に据付け、アンカーボルトなどで固定してください。

※設置届けの要否は消防署に確認してください。

ゴム製送油管の屋外使用禁止

ゴム製送油管は屋外で使用しないでください。ひび割れを生じて油漏れの原因になります。

機器交換時にはゴム製送油管を交換

機器交換時には既設のゴム製送油管を必ず交換してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂などがない場合でも新しいものに交換してください。交換しないと灯油の漏れにつながり、火災のおそれがあります。

送油管取り付け時の確認

既設の油タンクを使用する場合は、送油管を機器に取り付ける前に、油タンクからの灯油をバケツなどの容器で受け、油タンク内に水、ごみ、さびなどがないことを確認してから取り付けてください。油タンク内に水、ごみ、さびなどがたまっていますと機器の故障の原因になります。

アース工事をすること

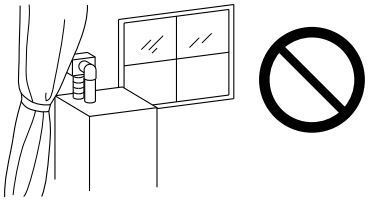
アース工事を確実に行なってください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

⚠注意

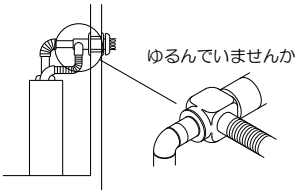
給排気筒の点検

取付けが終わったら、もう一度点検してください。
次のような取付けは、危険であったり、不完全燃焼をおこすおそれがあるので、必ず修正してください。

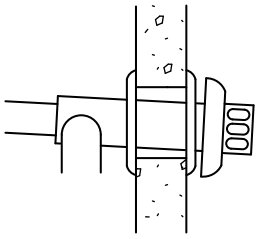
●可燃物近接禁止



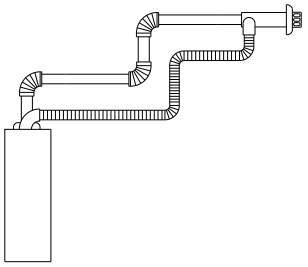
●接続のゆるみ点検



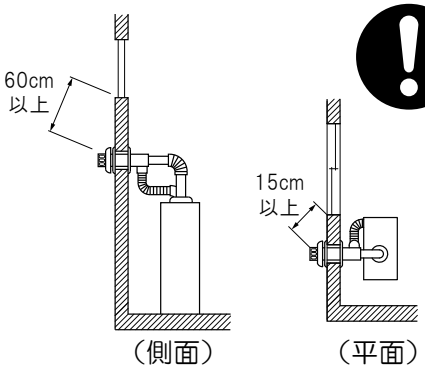
●下り勾配のこと



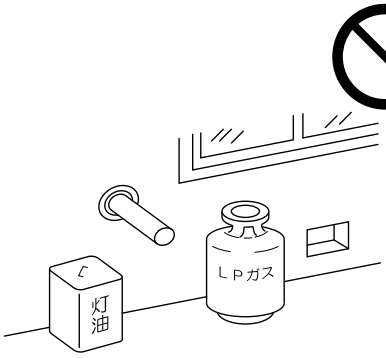
●3ｍ3曲がり以下のこと



●給排気筒トップと開口部との距離は離す



●危険物近接禁止



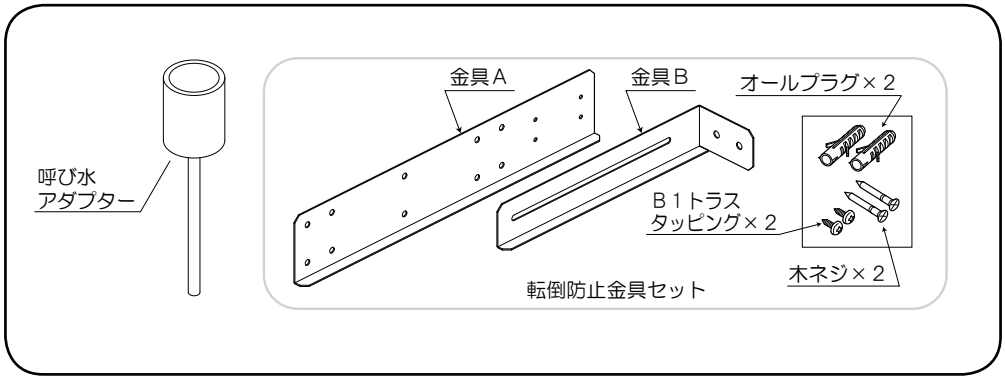
開こん（附属部品の確認）

●開こんの際の注意事項

・こん包箱から製品を傷つけないように取出してください。

・その他、据付ける前に製品の輸送中に生じたネジのゆるみや、はずれなどないか調べてください。

附属品名		
機種名 / 部品名	CBS-EN4100SFF	CBK-EN4100SFF
取扱説明書	1	1
工事説明書	1	1
所有者票	1	1
アース線	1	1
メインリモコン	1	1
メインリモコンコード	1	1
ふろリモコン	ー	1
ふろリモコンコード	ー	1
呼び水アダプター	ー	1
転倒防止金具セット	1	1



附属品の代用禁止

附属された部品を他のもので代用しないでください。
機器を破損するおそれがあります。

機器据付け

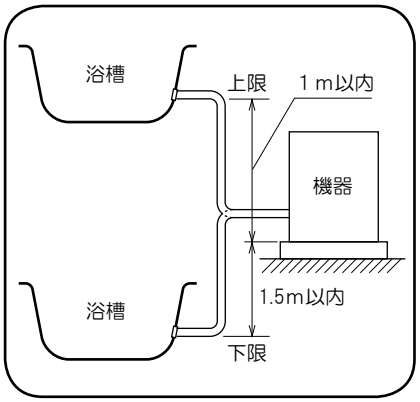
■ 据付け場所の選定

機器を据付ける場合は水道工事・電気工事などの付帯工事のできる場所にしてください。また火災予防上の所定の距離、隣家への防音上の配慮が必要です。据付け場所を選定するときは、次の各項をよく考慮してから決めてください。

●燃焼用空気を十分取り入れられる場所を選んでください。
●換気が十分行なえる場所を選んで設置してください。
●排水のしやすい場所を選んでください。
● 100V 電源のコンセントの位置をよく考慮してください。
●油タンクを安全に設置できる場所を選んでください。（詳しくは９ページを参照してください）
●付近に燃えやすいものがない場所を選んでください。
●火災予防上の所定の距離が十分とれる場所を選んでください。周辺を防熱板、不燃構造とした場合は緩和されます。（詳しくは３ページを参照してください）
●周辺の壁は、金属以外の不燃材料（コンクリート・ブロック・モルタル・しっくいなど）で仕上げてください。
●強い振動や衝撃が少なく、機器の重量に耐え安定している床に機器を据付けてください。
●床面が木材など燃えやすい材料の場合は、不燃性の台を設けその上に置いてください。
●設置後の保守・管理の行なえる場所を選んでください。
●排気の出口は、近くに給排気をともなう換気扇や給気口がない場所を選んでください。

■ 浴槽と機器の据付けの基準寸法（CBK-EN4100SFF の場合）

●機器が浴槽より上の場合は、循環口と機器が 1. 5m 以内となるようにしてください。
●機器が浴槽より下の場合は、循環口と機器が１m 以内となるようにしてください。
●ふろ配管の長さは片道 10 ｍまで可能ですが、できるだけ短くなるようにしてください。配管が長く、曲がり数が多いほど沸き上がりが遅くなります。また、フレキ配管も配管抵抗（圧力損失）が大きいため循環量が減ります。



■ 据付け方法

●水 平 調 節

据付け場所を決めてから、水準器を使って水平になるように調節してください。機器が傾きますと、熱交換器に空気だまりができ腐食の原因となります。

●転倒防止金具の取り付け方

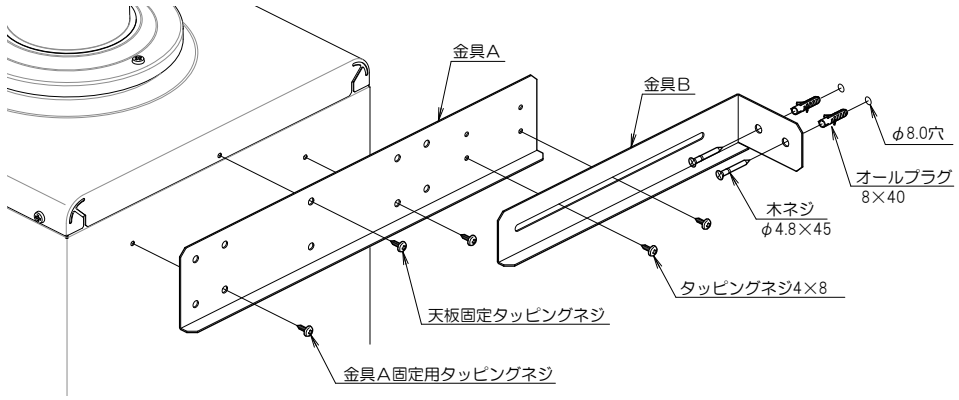
地震に対して給湯設備の転倒、移動などにより避難者が危害を受けるおそれのない場合を除き、転倒防止金具セットを使用して機器を固定してください。

(1) 機器の天板固定タッピングネジ（１本）と金具Ａ固定用タッピングネジ（２本）をはずし、下図のように金具Ａを機器の背面に取り付けてください。

(2) 取り付けた金具Ａの固定穴に合わせて金具Ｂを壁に固定した後、金具Ａ、金具Ｂを附属のタッピングネジ（２本）で固定してください。

注意 **火災予防条例により、機器と壁とは３ページの距離を守って設置してください。**

転倒防止金具取付図



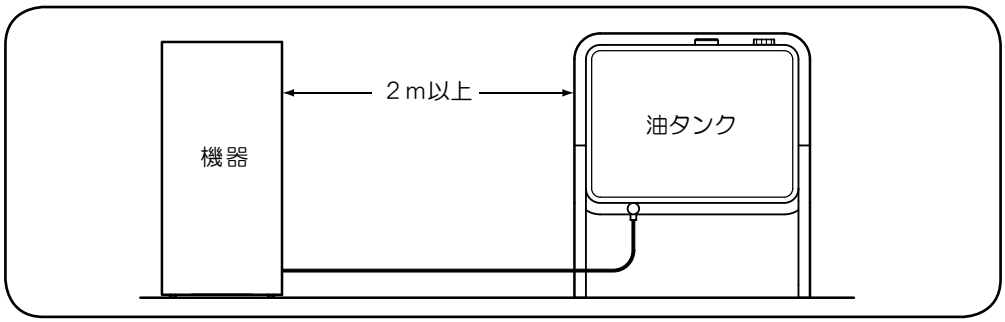
設置階	上部固定の仕様	本数
１階、地階、敷地の部分	木ねじφ 4.8 ＋有効打ち込み長さ（木下地）12mm 以上　※2	２本以上
中間階、上層階、屋上 ※1	木ねじφ 4.8 ＋有効打ち込み長さ（木下地）15mm 以上　※2	２本以上

※1：中間階とは、地階、１階及び上層階を除く階をいう。
上層階とは、地階を除く階数が２以上６以下の建築物にあっては最上階、
地階を除く階数が７以上９以下の建築物にあっては最上階及びその直下階、
地階を除く階数が 10 以上 12 以下の建築物にあっては最上階及び最上階から数えた階数が３以内の階、
地階を除く階数が 13 以上の建築物にあっては最上階及び最上階から数えた階数が４以内の階をいう。

※2：有効打ち込み長さが確保できない場合は、裏うち板で補強してください。

◉油タンクの取付け

・油タンクは機器より２m 以上離して据付けるか、防火上有効な遮へいを設けてください。



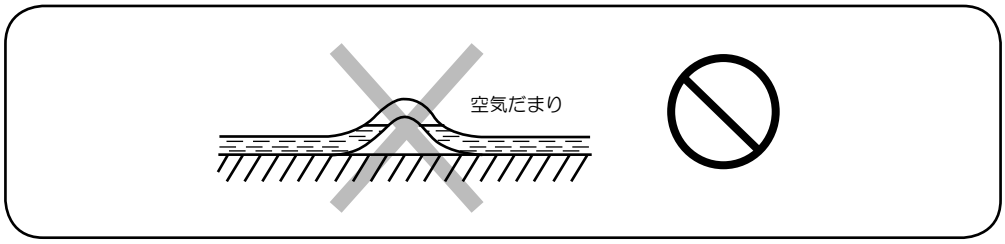
・油タンクは機器の高さより２m 以内に据付けてください。

・据置式の油タンクは、不燃材の床上に据付け、アンカーボルトなどで固定してください。
※設置届けの要否は消防署に確認してください。

◉送油管の取付け

・油タンクの送油バルブにフレアナットをねじ込み、スパナなどで固く締め付けてください。

・送油管の上には重量物が乗ったり、折れ曲がったりして空気だまりができないようにしてください。



・屋外に配管する場合は、必ず金属配管にしてください。

・送油管はしっかりとした場所に固定してください。しっかりと固定されない場合、送油管が振動し、異常音が発生する場合があります。

水 道 配 管

配管工事は必ず水道局の指定工事店に依頼し、所轄の水道局の規定に従ってください。

■ シスターンによる方法

●シスターンタンクは機器の床面から 10 m 以下のところに取付けてください。

●膨張管、いっ水管を次の注意を守って必ず配管してください。

- 途中にバルブ類を使用しないでください。
- 曲がりはできるだけ少なくし、最短距離でシスターンタンクに接続してください。
- 横引き部分は、機器から見て先上り勾配にしてください。
- 内径が 25 ㎜ 以上の水道管にて配管してください。
- 膨張管は必ず凍結予防の処置をしてください。
- いっ水管には必ずホッパーを取付けてください。

●配管は保温材などを使用して凍結を予防してください。

●混合栓への給水配管は、シスターンタンクの給水管から分岐して配管してください。

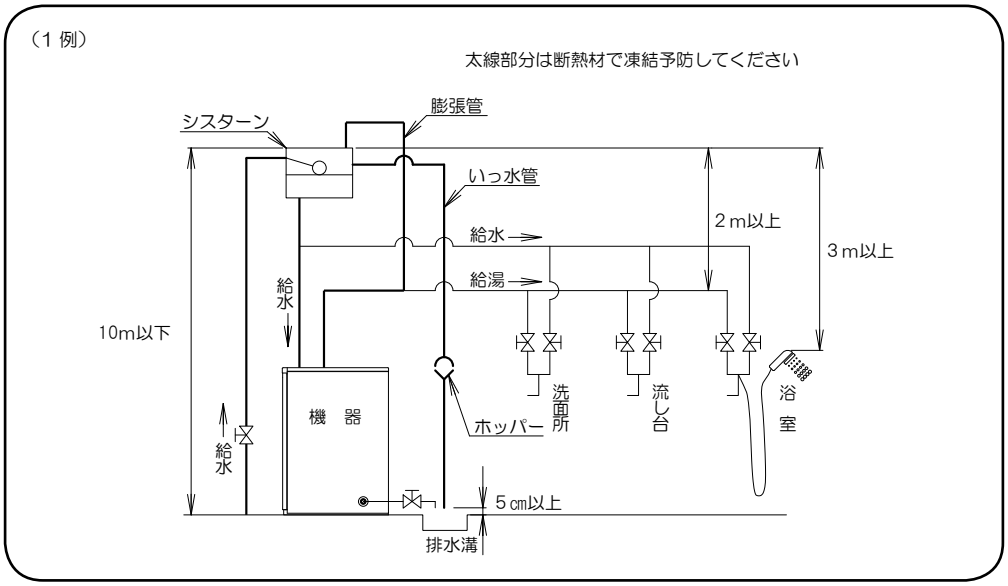
●配管の途中に逆U字部分を作らないでください。

●機器の排水口には排水バルブを設け、機器及び配管内の水が抜けるようにしてください。

●排水管と排水溝は５㎝ 以上離して下さい。

●階下給湯の場合は、給湯配管に負圧作動弁を取付け、負圧によるエアー噛みがなくなるまで出湯量を制限してください。

（1 例）



■ 減圧弁による方法

水道直結とする場合は、（公社）日本水道協会・その地区の水道事業者が承認する減圧弁・逃し弁を使用してください。減圧弁は 80kPa（0.80kgf/cm^2）、逃し弁は 95kPa（0.95kgf/cm^2）のものを使用してください。

●減圧弁は、図のようになるべく垂直にしてください。

●逃し弁の出口は、必ず排水溝へ配管してください。

●配管は保温材などを使用して凍結を予防してください。

●減圧弁及び逃し弁は、「圧力調節済」ですので絶対に再調節しないでください。

●混合栓への給水配管は減圧弁を通過したところ（２次側）から配管してください。

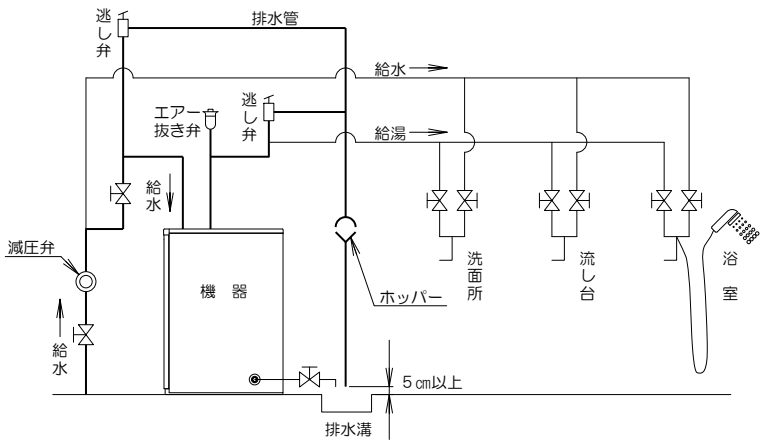
●逃し弁の排水管途中には必ずホッパーを取付けてください。なおホッパーの取付けは逃し弁にできるだけ近い位置にしてください。

●機器の排水口には排水バルブを設け、機器及び配管内の水が抜けるようにしてください。

●排水管と排水溝は５㎝ 以上離してください。

●階下給湯の場合は、給湯配管に負圧作動弁を取付け、負圧によるエアー噛みがなくなるまで出湯量を制限してください。

（1 例）



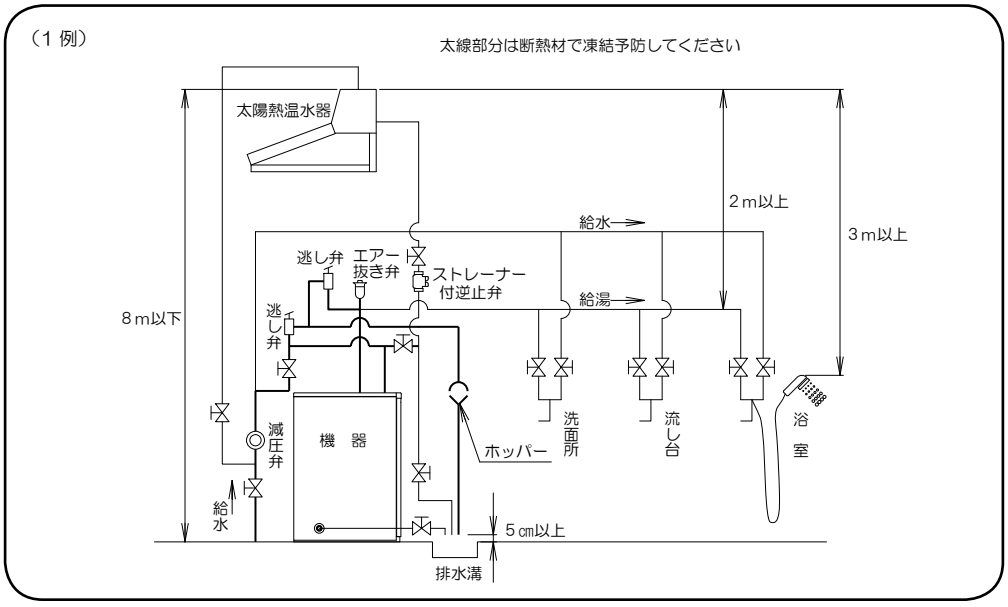
■ 太陽熱温水器を接続する場合

設置後の機器のメンテナンスが容易にできるように配管してください。

●太陽熱温水器からの配管には必ずストレーナー付逆止弁を取付けてください。

●ストレーナーの掃除や凍結防止のため機器本体への配管にはバルブを取付けてください。

●太陽熱温水器の高さは８m 以下にしてください。



注意

太陽熱温水器から機器への給水温度は、85℃以下にしてください。85℃を超えると、安全装置が作動します。

■ 排水、凍結予防に関する注意

●排 水 方 法

排水バルブは軽度の凍結であっても開閉しやすいものを選び、機器の排水口に取付け、排水溝へ排水できるようにしてください。

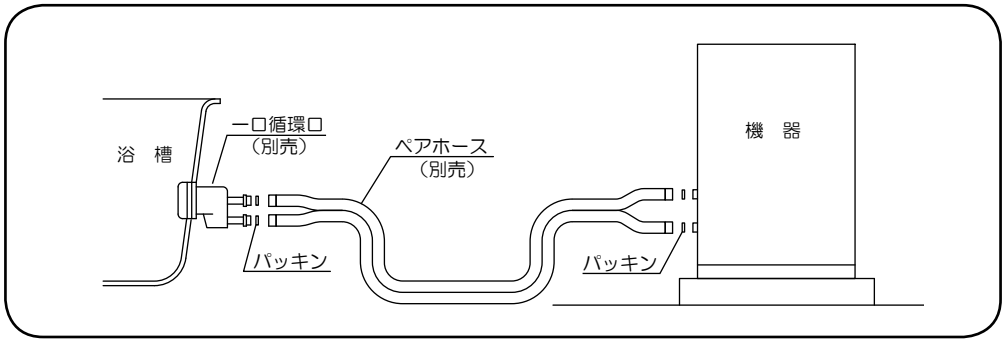
●配管の凍結予防

特に寒さが厳しく水道管の凍結する地域では、電気ヒーターを巻くなど適切な凍結予防をしてください。

ふろ配管(CBK-EN4100SFF の場合)

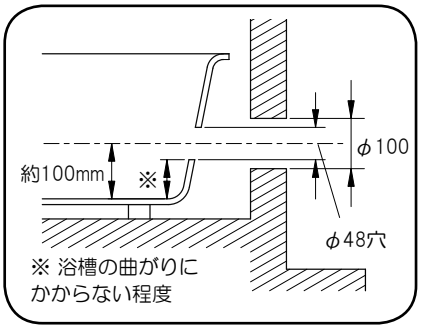
■ ふ ろ 配 管

配管には当社指定の別売一口循環口とペアホースを使用して、附属の工事説明書に従って配管してください。
当社指定部品を使用しないと機器が正常に動作しない場合があります。



■ 浴槽の穴あけ

浴槽の下から約 100 ㎜位で浴槽の曲がりにかからない場所にφ 48 ～ 50 の穴を 1 ヵ所あけてください。すでに浴槽に 2 個穴があいている場合、上側の穴は別売の化粧用バスキャップを使用してふさいでください。



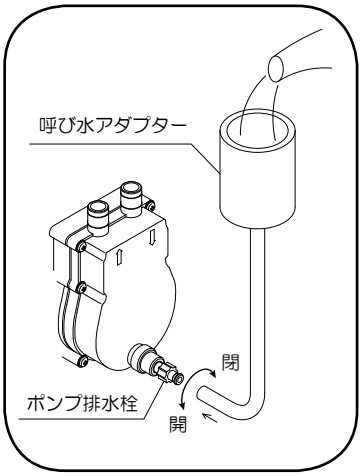
■ 配管上の注意

●必ず 15A（1/2B）以上で配管してください。ただし鋼管での配管は赤錆発生の原因になりますので、絶対に行なわないでください。
●金属配管で接続する場合は、必ずユニオンを使用してください。また、配管途中でのつなぎはしないてください。
●浴槽と機器はできるだけ近くに設置し、必ず保温工事をしてください。
●浴槽循環口は、循環口取付説明書に従って必ずフィルターを取付けてください。
●配管は必ずU字型になるように配管して、逆U字にならないようにしてください。
●横引き配管は浴槽の底面より低くしてください。また、横引き配管は地中に埋設すると凍結に対して有効です。

■ 循環ポンプへの給水

機器を設置後初めてふろ運転をするときと、循環ポンプの掃除をしたあとや、ポンプ排水栓から水抜きをしたあとでふろ運転をするときは、循環ポンプに必ず給水をしてください。

(1) 循環ポンプへの給水は、ふろ運転をする前に行なってください。
(2) ポンプ排水栓を左に回してゆるめてください。
(3) 附属品の呼び水アダプターのチューブを排水栓に接続してから、図のようにやかんなどで注水してください。(注水量は約 500cc)
(4) 注水が終わりましたら呼び水アダプターのチューブを取りはずし、ポンプ排水栓を閉めてください。



注意

- **給水しないでふろ運転をすると、ふろが沸かないばかりでなく、循環ポンプの故障の原因になります。**
- **循環ポンプに給水し、ふろ運転すると、最初は循環するまでに多少時間がかかることがあります。**

電 気 配 線

電源コンセントは、雨・飛水があたらず、足を引っかけたりしない位置にしてください。また、適切な位置にコンセントがない場合は、電気配線を電力会社の指定工事店に依頼してください。

注意

延長コードは使用しないでください。メインブレーカーは、中性線欠相保護付き漏電ブレーカーでないと機器を破損する恐れがあります。

■ 接地（アース）工事

（感電防止のため、必ず接地してください）

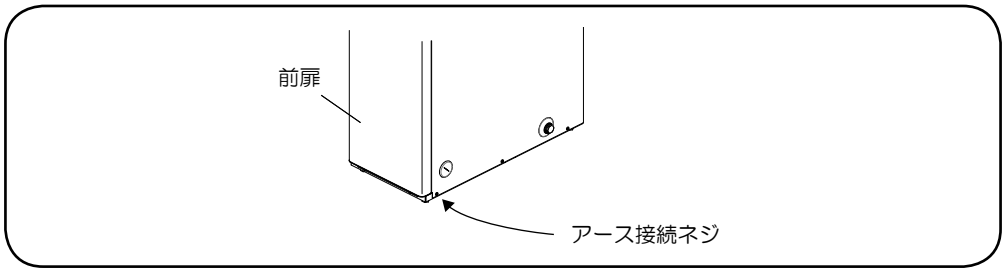
●使用電源は単相 100V で、50Hz、60Hz 共通です。

●運転時の電圧が 90V 以下、及び 110 Vを越える場合は故障の原因となることもありますので、電圧状況を調査のうえ対策してください。

●機器を安全に使用するために、必ず接地（アース）工事をしてください。

・電気設備技術基準に基づいて電気工事士によるD種接地工事（接地抵抗 100Ω 以下）を行なってください。

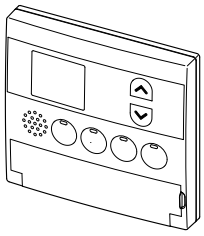
・ガス管、水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。



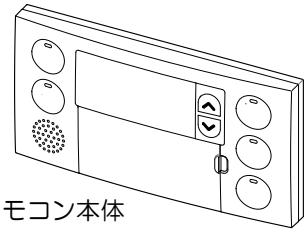
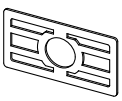
■ リモコンの附属品

リモコンに下記の部品が同梱されていることを確認してください。

【メインリモコン】

 リモコン本体		オールプラグ 2個		トラス小ネジ 1個
		木ネジ 2個		ケーブルクランプ 大小各1個
		なべ小ネジ 2個		バインドタッピングネジ 2個

【ふろリモコン】（CBK-EN4100SFF の場合）

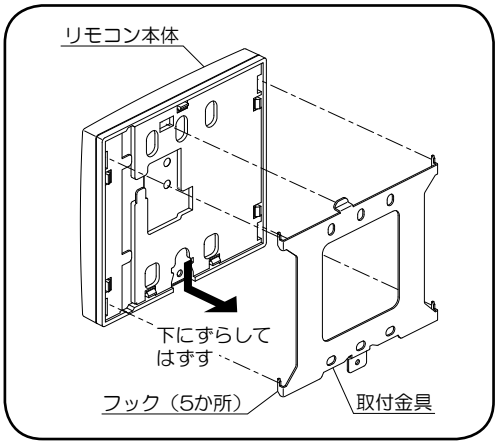
 リモコン本体		パッキン 1個		木ネジ 2個
		オールプラグ 2個		ケーブルクランプ 大小各1個

■ メインリモコンの取付け

下記の場所には取付けないでください。

・温度の高くなる場所、直射日光のあたる場所。

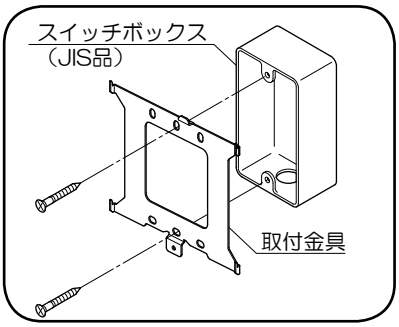
・湯気、水しぶき、油のかかる場所。



●取付金具のはずし方

リモコンの裏についている取付金具を下にずらし、フックをリモコンから抜いて、取付金具をはずしてください。

●取付金具の取付方法



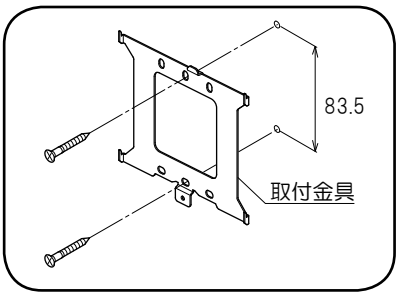
【 スイッチボックスを使用する場合 】

リモコンに付属のなべ小ネジで取付金具をスイッチボックスに取り付けてください。

【 壁に直接取り付ける場合 】

付属の木ネジで取付板を壁に固定してください。

コンクリート、モルタルなどの壁に固定する場合は、付属のオールプラグを使用してください。

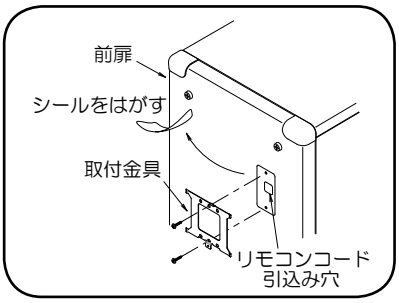


【前扉に取付ける場合】

(1) 前扉に貼付しているシールをはがしてください。

(2) 前扉を外し、外側よりリモコンコードを引込み穴に通してください。

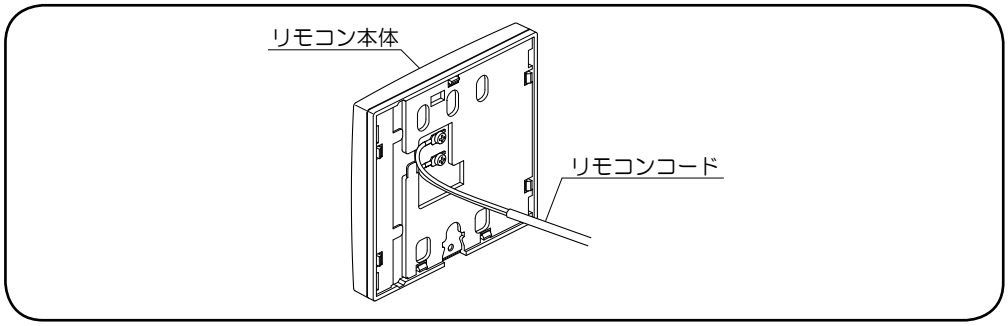
(3) 取付金具を附属のバインドタッピングネジで前扉に固定してください。取付けは埋め込み配線の場合と同様にしてください。



●リモコンコードの接続

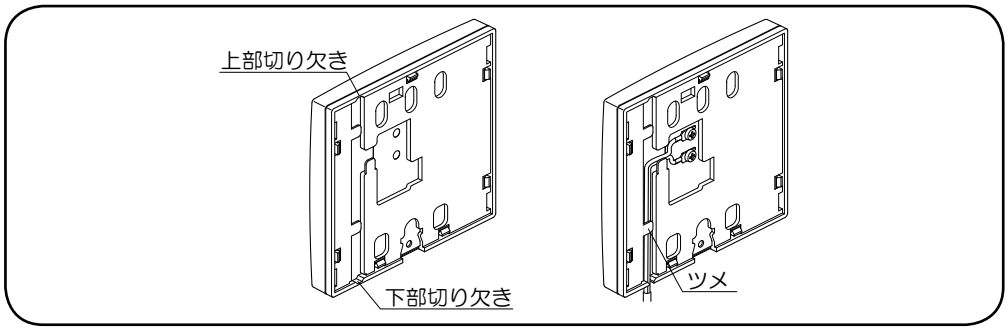
リモコンの端子にリモコンコードを接続してください。

※ネジは必ず手締めで行ない、インパクトドライバーなど電動工具は使用しないでください。リモコンを破損するおそれがあります。



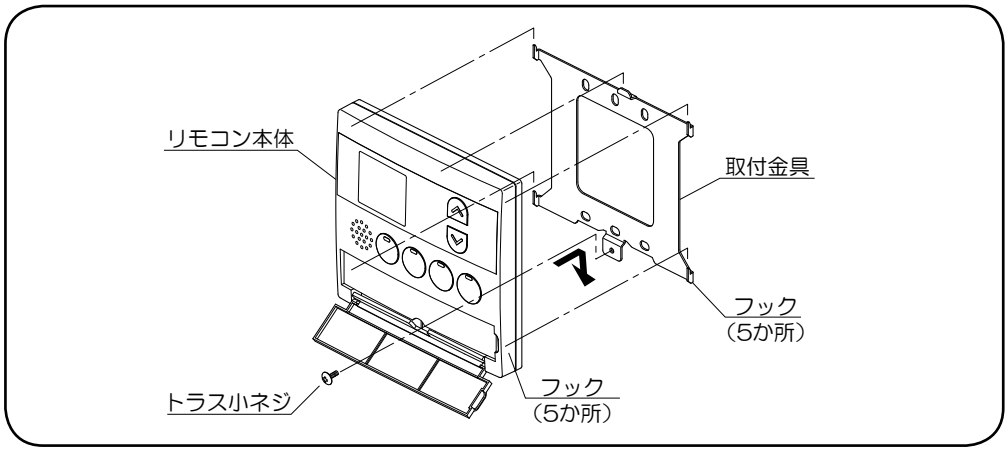
【 露出配線の場合 】

リモコンケース下部の切り欠き部をニッパーなどで切り取り、コードをツメの内側に通して配線してください。



●リモコン本体の取付方法

本体のフックに取付金具のフックを合わせて押し下げるようにして取り付けてください。取付金具にリモコンを取り付けたあとに、ふたを開けて付属のトラス小ネジで固定してください。



■ ふろリモコンの取付け（CBK-EN4100SFF の場合）

ふろリモコン取付け前の注意

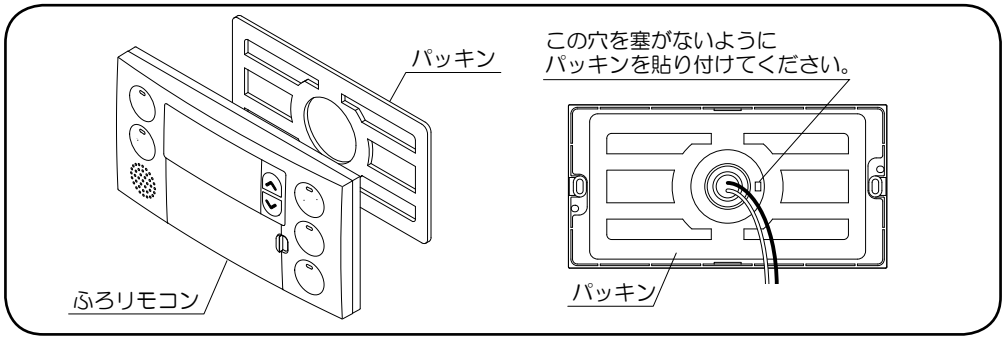
- ふろリモコンは防湿構造になっていますので開けないでください。
- 水やお湯が直接かからない所に取付けてください。
- リモコンを取付ける壁の厚さは最大 200 ㎜までです。

●ステーパイプセット（別売）による取付け方法

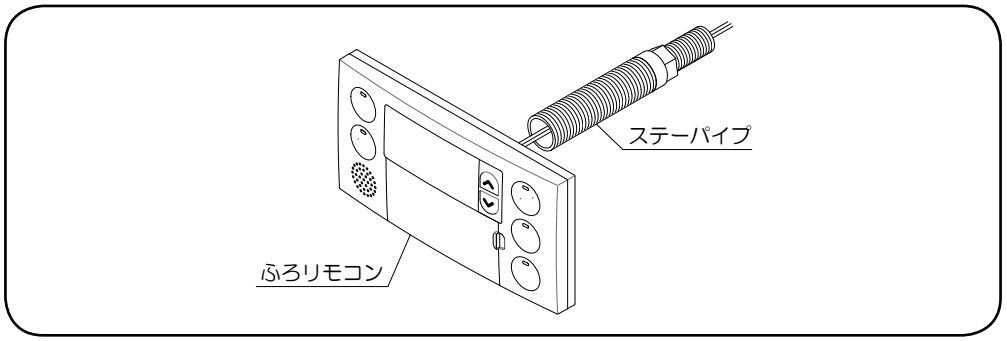
壁貫通式で取り付ける場合は、別売のステーパイプセット（F-036SK-KT）を使用してください。

（1）ふろリモコンを取付ける壁に直径 32 ㎜の貫通穴を開けてください。

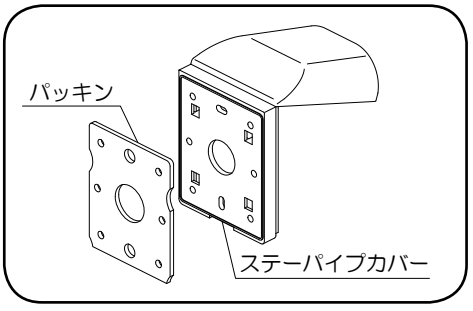
（2）付属のパッキンをふろリモコンの裏面に貼ってください。



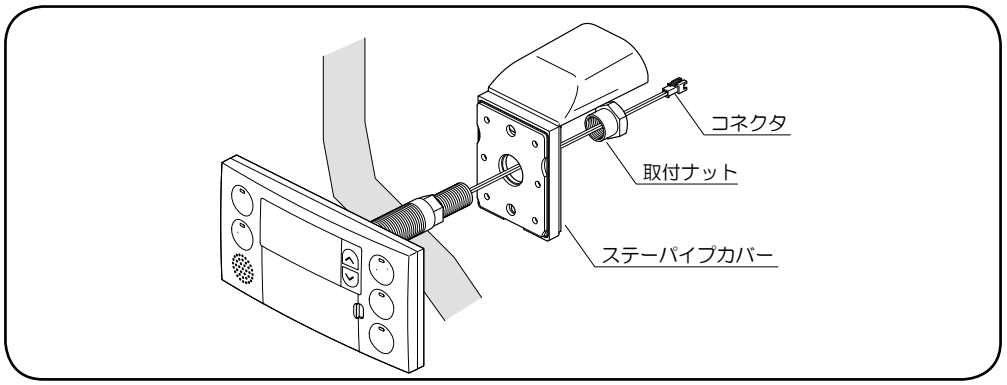
（3）ふろリモコンにステーパイプを取り付けてください。



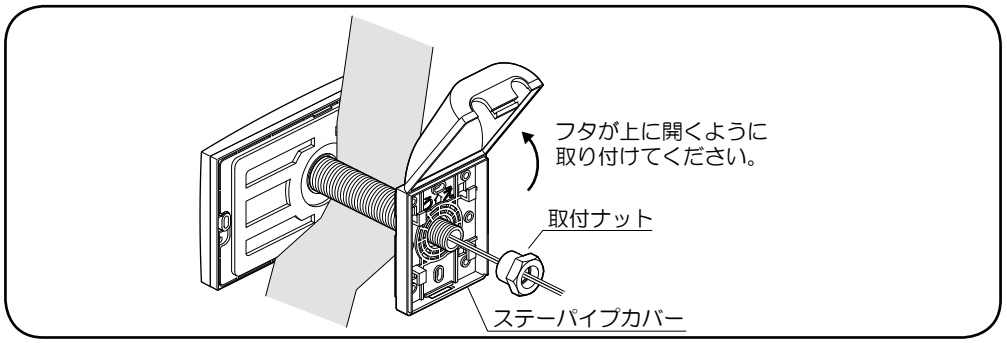
（4）ステーパイプカバーにパッキンを貼り付けてください。



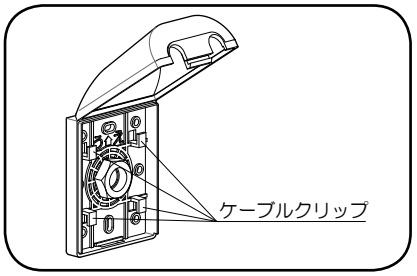
（5）ふろリモコンに接続したステーパイプを貫通穴に通して、コネクタを下図のように通してください。



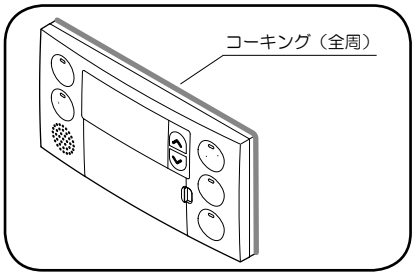
（6）ふろリモコンを壁に貼り付けたあと、ステーパイプが壁から約 20㎜ 出るように調節して、外側からステーパイプカバーを取付ナットで強く締め付けてください。



（7）リモコンコードとの接続部をステーパイプカバー内のケーブルクリップに引っ掛けて、ステーパイプカバーのフタを閉じてください。

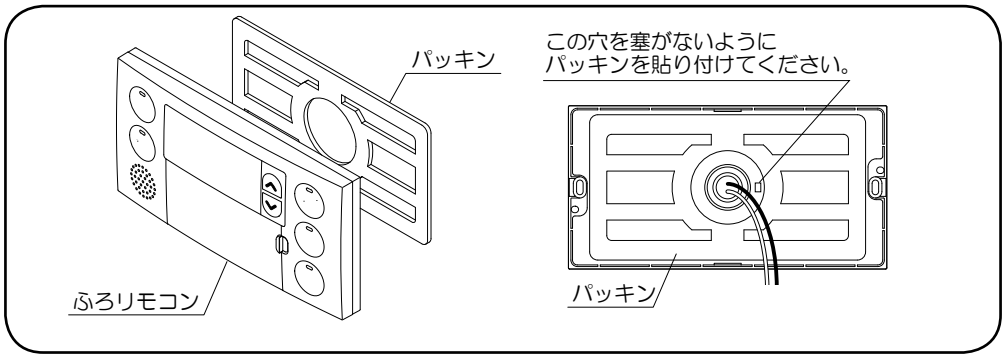


（8）ふろリモコンの周りをコーキングしてください。



●木ネジによる取付け方法

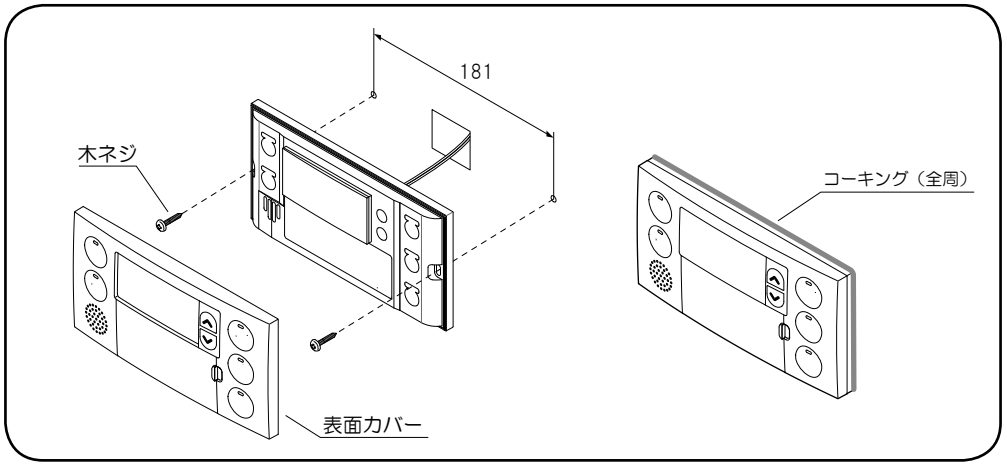
（1）付属のパッキンをふろリモコンの裏面に貼ってください。



（2）表面カバーを手ではずし、附属のネジで壁に固定してください。

（3）コンクリート、モルタルなどの壁に固定する場合は、付属のオールプラグを使用すると便利です。

（4）ふろリモコンの取付けが終わりましたら、図のようにコーキングしてください。

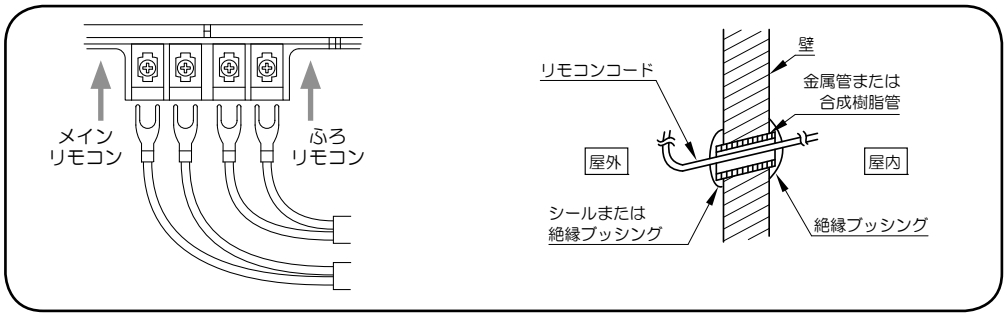


お願い ・リモコンの裏側は、必ず外気と通気性を持たせてください。

■ リモコンコードの取付け

リモコンの取付けが終わりましたら、必ず電源プラグを抜いてからリモコンコードを端子台に接続してください。

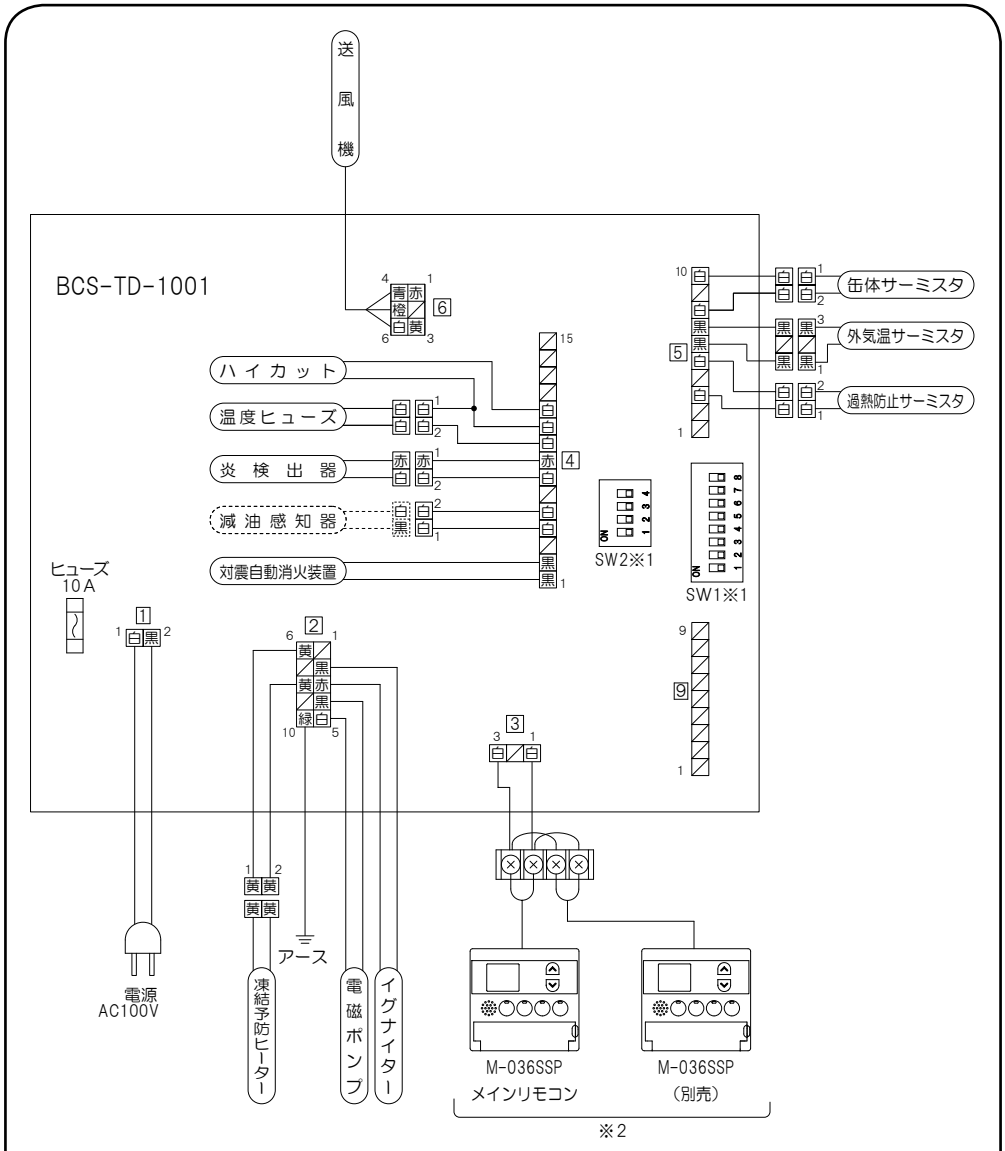
コードの壁貫通部は、金属管または合成樹脂管を通し、シールしてください。壁貫通部は防水のため屋外に向かって下り勾配としてください。



注意

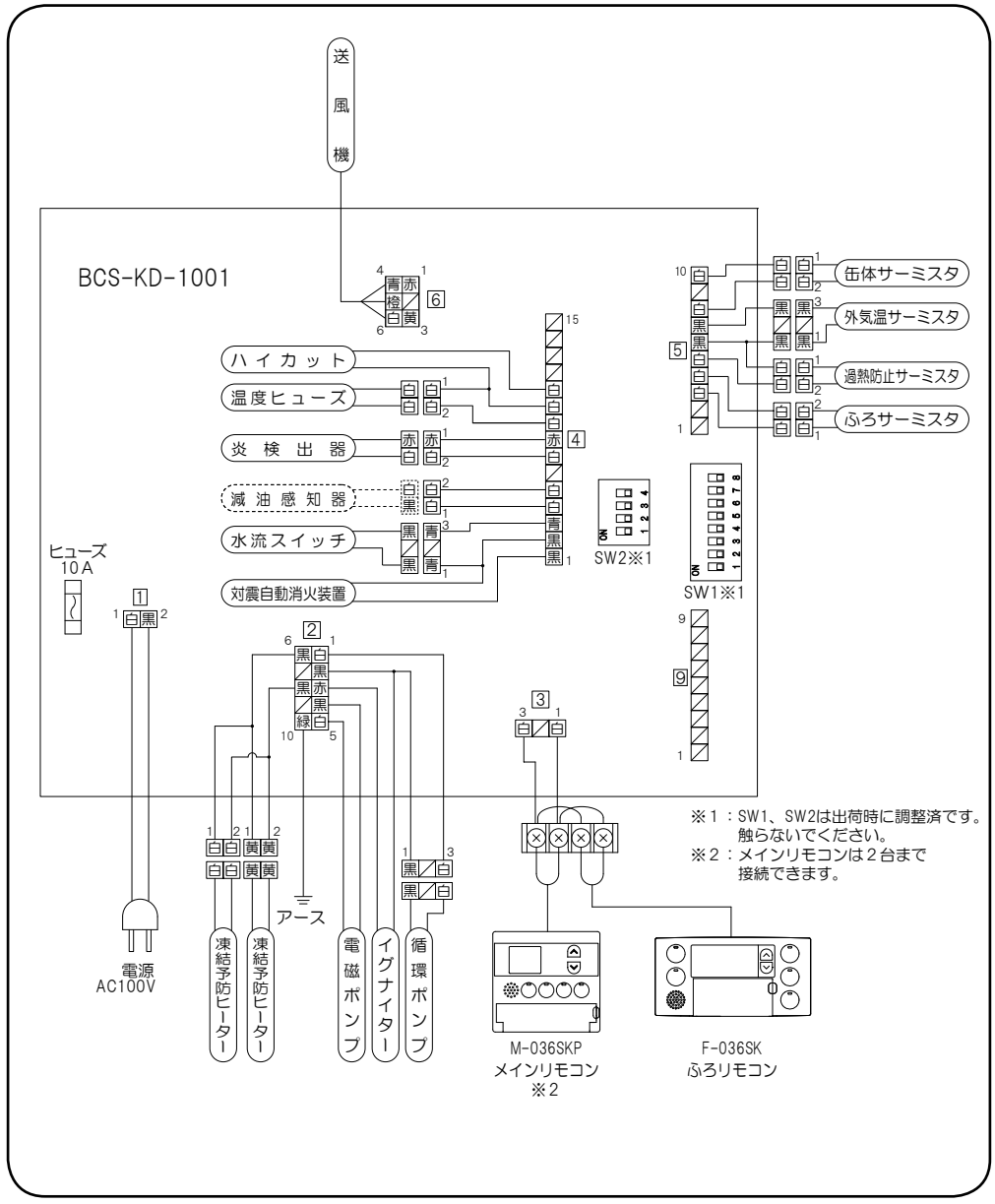
- **リモコンの接続は、必ず機器の電源プラグを抜いてから行なってください。**
- **ネジは必ず手締めで行ない、インパクトドライバーなど電動工具は使用しないでください。**
- **リモコンコードは、必ず電源コードから離して配線をしてください。**
- **リモコン 1 台につき 20m 以上の配線はさけてください。リモコンの表示能力が低下し、正常なリモコン操作ができなくなる場合があります。（1 本当たりの配線抵抗が 1.4 Ω以下になるようにしてください）**

《 配 線 図 》(CBS-EN4100SFF)



※1：SW1、SW2は出荷時に調整済です。触らないでください。
※2：リモコンは2台まで設置できます。

《 配 線 図 》(CBK-EN4100SFF)



給排気筒の取付け

給排気筒を正しく取付けない場合、機器の性能が十分発揮できないばかりでなく、思わぬトラブルの原因にもなります。そのほか、各地区の火災予防条例に従って設置してください。

●使用する給排気筒

別売の給排気筒（FF-101A）を使用してください。
（この給排気筒に使用しているOリングは JIS B2401　4 種 C で、呼びは P80 です）

●取付け上の注意

別売の給排気筒（FF-101A）が取付けられる範囲は次のとおりです。

- 取付け可能な壁の厚さは 150 ～ 270 ㎜です。
- 給排気筒トップ取付け穴はφ 120 ㎜です。
- 標準設置の場合、機器後面または側面上部へ給排気筒を出してください。
- 標準で設置できない場合、別売の延長管部品を使用して延長工事を行ってください。
- 延長工事は３m ３曲り以内としてください。
- 給排気筒の端面（パイプの先端など）でケガをしないように、手袋をはめて行なってください。
- 寒冷地（積雪地域）では、地表面から給排気筒トップまでの距離を出来るだけ大きくとって給排気筒トップが閉そくされないように注意してください。

●給排気筒の取付け方法

(1) 設置場所を決めてください。

(2) 給排気筒の穴あけ位置を決めてください。穴の高さは機器本体上面より 435 ～ 520 ㎜の位置です。取付ける壁の給排気筒穴あけ中心に印をつけてください。

(3) 印をつけた位置にφ 120 ㎜ の穴をあけてください。穴をあけるとき、壁内の鉄筋、電気・電話配線、ガス・水道配管に十分注意してください。

(4) 給排気筒トップの取付け

▽屋内側

給排気筒（屋内側）を壁穴に挿入し屋内フランジの上マークを上にして附属のネジ４本で壁穴に固定してください。壁がコンクリートやタイルなどの硬質壁の場合、またメタルラス張り、ワイヤーラス張りの壁に取付ける場合は市販のカールプラグ

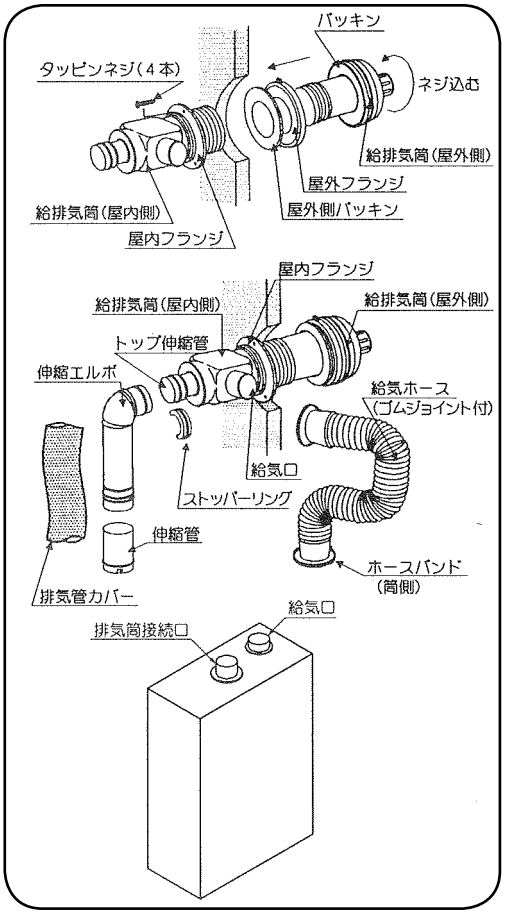
を打ち込んでからネジでとめてください。

▽屋外側

給排気筒（屋外側）に屋外側パッキンと屋外フランジをはめ込み上マークを上にして外側からねじ込んでください。

▽屋外フランジの内・外周にパテまたはコーキング剤を塗布し、壁の中に雨水が浸入するのを防いでください。

屋内フランジを正しく付けると給排気トップは約３度の傾斜で下向きになります。屋内フランジの上マークが上部の位置とずれていると雨水などが給排気筒に入り込み機器本体の故障の原因となります。

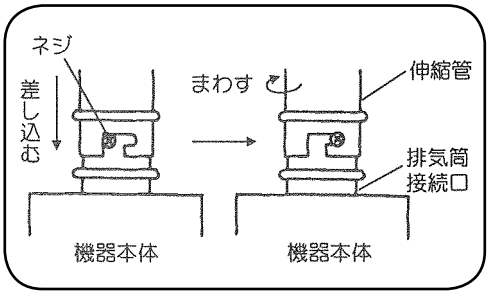


(5) 排気筒の接続

▽伸縮エルボをトップ伸縮管に突き当るまで差し込みます。ストッパーリングで伸縮エルボと、トップ伸縮管とを確実に固定してください。

▽伸縮管のツメを起こして伸縮エルボに当たるまで差し込んでください。

▽排気管カバーを伸縮管よりかぶせ、トップ伸縮管まで上げてください。



▽機器本体の排気筒接続口のネジをあらかじめゆるめておき、伸縮管の部分を伸ばして機器本体の排気筒接続口にかぶせ、ネジに切り欠き部を差し込み、まわしてからネジを締め込んで固定してください。固定ネジ部はアルミテープなどでシールしてください。シールしないと排ガスが室内に漏れて危険です。

▽最後に排気管側全体に排気管カバーをかぶせてください。

（6）給気ホースの接続

▽給排気筒（屋内側）の給気口に給気ホース（ゴムジョイント）を差し込み、ホースバンドで締め付けてください。

▽機器本体の給気口に給気ホース（ゴムジョイント）を差し込み、ホースバンドで締め付けてください。

注意　**排気管と給気ホースは必ず５㎝ 以上離してください。**

●給排気筒の点検及び清掃

給排気筒の取付け工事が終わりましたら、下記の項目をもう一度点検してください。

- 屋外の給排気筒トップがビニール袋などでふさがれていないことを確認してください。
- 給排気筒が正しい場所に取付けられ、標準取付け寸法以上になっていることを確認してください。
- 可燃物、カーテン、洗濯物などが給排気筒に接触していないことを確認してください。
- 給排気筒が上り勾配になっていないことを確認してください。
- 給排気筒の接続部がゆるんでいないこと、機器本体との固定ネジ部がアルミテープなどでシールしてあることを確認してください。
- 排気筒と給気ホースは、少なくとも５㎝ 以上離れていることを確認してください。
- 給排気筒が、ステンレス線などで壁に固定してあることを確認してください。

注意　**給排気筒の掃除は、必ず運転が停止し、給排気筒の温度が下がったことを確認してから行なってください。**

◉延長管の取付け方法

標準給排気筒セットで取付けられない場合は、別売の延長管部品を用意し延長工事をしてください。

延長給排気方式の限界と注意

- 機器排気筒接続口から給排気筒までの総長は３m 以下、曲がりは３ヵ所以内で取付け場所を選んでください。特に低温地域では、短い延長で取付けてください。
- 給排気筒トップ先端位置及び周辺の状態について、前記の「安全のために必ずお守りください」の内容を守ってください。
- 排気管の取付けは、機器出口を最も低い位置とし、上り勾配にしてください。絶対に下り勾配や凹部をつくらないようにしてください。排気管にドレンがたまり、不完全燃焼や点火、燃焼しない原因となります。
- 排気管と給気ホースは交差したり、ふれたりしないようにしてください。排気管と給気ホースは５㎝ 以上離してください。
- 排気管と周囲の可燃物は 15 ㎝ 以上離してください。
- 接続部の重なりは５㎝ 以上重なり合うよう差し込んでください。差し込みが少ないと排気ガスが漏れる原因となります。

高地で使用するときの注意

高地で使用されるときは、機種により機器の調整が必要な場合があります。
下表を参照してください。

標高 / 機種	1000m まで	1500m まで	1500m 以上
CBS-EN4100SFF	標準バーナー対応	弊社にご相談ください	取付できません
CBK-EN4100SFF			

試　運　転

試運転はお客様と一緒に必ず行なってください。
なお、詳しい内容につきましては、取扱説明書の「試運転」を参照してください。

廃棄するときの注意

機器を廃棄するときは、必ず灯油を抜いてください。
リサイクルの支障になります。

長府工産株式会社

本　　社	山口県下関市長府東侍町１－５	〒752-0977	TEL (083) 245-5441
大阪支社	大阪府茨木市春日３丁目14-17	〒567-0031	TEL (072) 625-5338
東北支店	宮城県仙台市青葉区愛子東6-7-47	〒989-3127	TEL (022) 391-1215
横浜支店	神奈川県横浜市緑区十日市場町872-19-2F	〒226-0025	TEL (045) 989-5885